

I

■出題の狙い

原始・古代の政治史を中心に出题しました。Aでは、蘇我馬子の事績や渡来人がもたらした文化など、飛鳥時代の政治史や文化史についての基本的な知識を問いました。Bでは、奈良時代の政治史に関するリード文を示したうえで、奈良時代の政争や施政者についての基本的な知識を問いました。また、奈良時代の土地政策については、百万町歩の開墾計画、三世一身法、墾田永年私財法を並べ替える問題を出題し、政策の背景に対する理解を問いました。

■採点講評

- 解答番号1 正答は②です。X正しい。Y誤り。『旧辞』『帝紀』ではなく、『天皇記』『国記』。
- 解答番号2 正答は③です。①仏教興隆の詔は、仏・法・僧の三宝をおこせとの詔。国分寺・国分尼寺の建立を命じたのは741年に聖武天皇が出した国分寺建立の詔。②官位相当の制ではなく冠位十二階。八色の姓を制定したのは天武天皇。④屯倉が設置されるようになるのは6世紀前半。
- 解答番号3 正答は②です。①王仁が伝えたと言われるのは『論語』『千字文』。易学（陰陽道）は易博士。③観勒が伝えたのは暦法。④曇徴が伝えたのは彩色・紙・墨の技法。
- 解答番号4 正答は④です。①秦河勝が創建したのは広隆寺。中宮寺を創建したのは厩戸王（聖徳太子）。②鞍作鳥の作品は力強く端正な顔立ちを特徴とする北魏様式である。③若草伽藍跡の発掘によって、現在の法隆寺が再建であることが明らかになった。
- 解答番号5 正答は④です。藤原不比等は701年の大宝律令の制定に尽力した。
- 解答番号6 正答は③です。光明子が嫁いだのは、のちの聖武天皇。また、のちに光明子は人臣初の皇后となった。
- 解答番号7 正答は⑥です。藤原氏四子が病死すると、政権は皇族出身の橘諸兄に移った。
- 解答番号8 正答は⑩です。740年、藤原広嗣が九州で、吉備真備・玄昉の排斥を求めて兵をあげた（藤原広嗣の乱）。
- 解答番号9 正答は⑦です。孝謙太上天皇（のちに重祚して称徳天皇）が寵愛したのは道鏡。
- 解答番号10 正答は⑫です。道鏡の皇位就任を阻止したのは和気清麻呂（宇佐八幡神託事件）。
- 解答番号11 正答は②です。①元正天皇ではなく元明天皇。③東側が左京、西側が右京である。④富本銭ではなく和同開珎。富本銭は天武天皇の治世に鑄造された最古の貨幣。
- 解答番号12 正答は①です。I 百万町歩の開墾計画（722年）→II 三世一身法（723年）→III 墾田永年私財法（743年）。

II

■出題の狙い

中世と近世の社会・経済史を中心に出题しました。Aでは、室町時代の農村についてのリード文を示したうえで、農業や貨幣経済などについての基本的な知識を問いました。座についての問題では、『離宮八幡宮文書』を用いて出题しました。Bでは、江戸時代の三都の発展についてのリード文を示したうえで、江戸時代に発展した産業のほか、豊臣政権や江戸初期の政治史についても基本的な知識を問いました。

■採点講評

- 解答番号13 正答は③です。①鎌倉時代の内容。②踏車ではなく竜骨車。踏車は17世紀半ばに発明された揚水機。④江戸時代の内容。
- 解答番号14 正答は①です。アには座が免除される負担が入るので、土倉役。小物成は山野河海の利用や農業以外の副業に課せられた税で、江戸時代に本百姓が負担した。イ大山崎の油神人（油座）は灯油の原料である荏胡麻の仕入れ、油の製造・販売の独占権を認められていた。
- 解答番号15 正答は④です。X誤り。連雀商人ではなく桂女。連雀商人は荷を運ぶ木製の背負い道具（連雀）を使って行商を行った。Y誤り。大原女は炭・薪などを頭上に乗せて、京で売り歩いた。
- 解答番号16 正答は④です。①乾元大宝は本朝（皇朝）十二銭の最後のものである。②③鎌倉時代の内容。
- 解答番号17 正答は①です。②東日本では金貨、西日本では銀貨が用いられた。③二十四組問屋は大坂の荷積問屋。江戸の荷受問屋は十組問屋。④町火消の設置は8代将軍徳川吉宗。
- 解答番号18 正答は③です。カ小牧・長久手の戦いは、1584年に起きた秀吉と家康らとの戦い。ク慶安の変（由井正雪の乱）は江戸幕府3代将軍徳川家光の死の際に発生した牢人らによる幕府転覆計画。
- 解答番号19 正答は④です。①慶長小判ではなく天正大判。慶長小判は江戸幕府が鑄造した。②全国統一後ではなく九州平定後に出された。③五大老ではなく五奉行。
- 解答番号20 正答は③です。X誤り。本阿弥光悦ではなく野々村仁清。本阿弥光悦は蒔絵・陶芸・書道などで多くの作品を残した芸術家。Y正しい。
- 解答番号21 正答は④です。河村瑞賢は東廻り海運・西廻り海運を整備した人物。内海船は江戸・上方間や瀬戸内海での開運に従事した廻船。

III

■出題の狙い

近現代の文化史を中心に出题しました。Aでは、明治時代の文化についてのリード文を示したうえで、教育、出版、自然科学など幅広い知識を問いました。Bでは、満州事変以後の政府による社会主義弾圧運動に関するリード文を示し、国体明徴声明や軍事統制などについての基本的な知識を問いました。

■採点講評

解答番号22 正答は①です。②北里柴三郎ではなく大正時代に活躍した野口英世の事績。北里は破傷風の血清療法やペスト菌を発見した。③オリザニン（ビタミンB1）を発見したのは鈴木梅太郎。高峰譲吉はタカジアスターゼの創製に成功した。④フォッサマグナを発見したのはナウマン。大森は大森式地震計を開発した。

解答番号23 正答は①です。アフォンタネージは工部美術学校で教鞭をとったイタリア人。イ日本美術院は1898年に東京美術学校校長を辞任した岡倉天心を中心に結成された民間の美術団体。

解答番号24 正答は⑥です。明治時代には教育もしだいに国家主義的傾向を強めていった。Ⅲ 1886年 - Ⅱ 1890年 - Ⅰ 1903年のこと。

解答番号25 正答は②です。①『浮雲』の著者は二葉亭四迷。坪内逍遙の著書は『小説神髓』。③政教社ではなく平民社。政教社を設立したのは三宅雪嶺ら。④福沢諭吉は自身が創刊した『時事新報』に「脱亜論」を発表した。

解答番号26 正答は①です。1935年、岡田啓介内閣は国体明徴声明を出して、美濃部達吉がとなえていた天皇機関説を正式に否定した。

解答番号27 正答は③です。①津田左右吉ではなく滝川幸辰。津田左右吉は古代史の科学的解明が皇室の尊厳を傷つけるとして著書が発禁処分となった。②矢内原忠雄は政府の大陸政策を批判したことを攻撃された。小日本主義をとなえたのは石橋湛山など。④北一輝は二・二六事件の理論的指導者であるとして処刑された。

解答番号28 正答は④です。『細雪』が連載禁止処分を受けたのは、谷崎潤一郎。大正時代には耽美派として、『痴人の愛』『刺青』などの作品を描いた。有島武郎は白樺派の作家で、代表作は『或る女』。

解答番号29 正答は④です。①文科系の学生のみ徴兵猶予が停止された。②女子挺身隊は勤労動員の一環で組織された。③国民学校に改称されたのは小学校のみである。

解答番号30 正答は①です。X Y正しい。

IV

■出題の狙い

縄文時代の遺跡や古墳時代の信仰などといった原始・古代に関するものから、第一次護憲運動や連合国軍による占領政策などといった近現代の出来事にいたるまで、すべての時代と分野を出題範囲として、基本事項を幅広く出題しました。

■採点講評

- 解答番号31 正答は②です。①アスファルトは秋田県から新潟県にかけての油田地帯を産地とする石材で、土器の補修などに使用された。③サヌカイトは四国北部や中国地方などを産地とする石材で、ナイフ形石器などに利用された。④ひすいは新潟県姫川流域などで産出された石材で、勾玉などの装身具として使用された。
- 解答番号32 正答は③です。①抜歯ではなく禊。抜歯は縄文時代に行われた通過儀礼。②加持祈？ではなく禊。加持祈？は密教の呪術の一つである。④盟神探湯ではなく太占の法。盟神探湯は熱湯に手を入れて、手がただれるか否かで真偽を判断する。
- 解答番号33 正答は④です。①伴善男ではなく伴健岑。伴善男は応天門に放火した大納言。②関白ではなく摂政。③藤原基経は阿衡の紛議（887～88年）以前の876年に摂政に、884年に関白に就任していた。
- 解答番号34 正答は①です。②比企氏の乱（1203年）は、2代将軍源頼家の義父比企能員が北条時政に滅ぼされた事件。③宝治合戦（1247年）は有力御家人三浦泰村が北条時頼に滅ぼされた事件。④和田合戦（1213年）は有力御家人和田義盛が北条義時に滅ぼされた事件。
- 解答番号35 正答は③です。X誤り。光厳天皇ではなく光明天皇。Y正しい。
- 解答番号36 正答は①です。一乗谷は越前の戦国大名朝倉氏の城下町である。よって、朝倉氏の家訓である①朝倉孝景条々が正解である。②今川氏の分国法である今川仮名目録には私婚の禁止などが、③伊達氏の分国法である塵芥集には逃亡・逃散の禁止などが、④武田氏の分国法である甲州法度之次第には喧嘩両成敗などが定められている。
- 解答番号37 正答は④です。①検見法にかえて定免法を採用した。②人足寄場ではなく小石川養生所。人足寄場が設置されたのは寛政の改革の際である。③野呂元丈ではなく青木昆陽。野呂元丈は徳川吉宗の命で青木昆陽とともにオランダ語を学んだ。
- 解答番号38 正答は②です。いずれも自由民権運動の激化事件である。①加波山事件（1884年）は圧政を行っていた栃木県令三島通庸の暗殺を企てて蜂起した。③名古屋事件（1884年）は自由党左派による政府転覆未遂事件。④福島事件（1882年）は福島県令三島通庸が道路開削工事に反対した農民や自由党員を逮捕した事件。
- 解答番号39 正答は④です。①「政費節減・民力休養」は初期議会で主張された。第一次護憲運

動のスローガンは「閥族打破・憲政擁護」である。②共和演説事件（1898年）は尾崎行雄が第1次大隈重信内閣の文相をつとめていた際に起こした舌禍事件。③桂の死後に立憲同志会が発足した。

解答番号40 正答は②です。X正しい。Y誤り。対日理事会ではなく極東委員会。対日理事会はGHQの諮問機関で、東京におかれた。

■全体の採点講評

日本史の問題は、時代から見ると、原始・古代から大問1問、中世・近世から大問1問、近現代から大問1問を出題しています。大問1問のなかをA、Bと二つに分けて、異なる二つの時代の問題を出題していることもあります。Ⅳでは現代に関する問題も出題しています。分野から見ると、政治史、外交史、社会・経済史、文化史のいずれかを重ならないように出題しています。政治史と文化史を混ぜた問題を出題することもあります。全体としては基本的な知識を問うものが多いですが、年代を並べ替える問題、資料を用いる問題も出題しています。

今回の問題の場合、時代の観点からすると、原始・古代は飛鳥時代と奈良時代、中世は室町時代、近世は豊臣政権から江戸時代初期、近現代は明治時代と昭和時代から出題しています。どこかの時代に偏るわけではなく、すべての時代を学習することを心がけてください。とくに、近現代はなかなか学習が進まないかもしれませんが、日本史が選択科目になっている知的財産学部も情報科学部データサイエンス学科も、近現代の学習をしっかりしていることを受験生に期待しています。

分野の観点からすると、政治史、社会・経済史、文化史から出題しています。いずれも相互に関連しているので、問Ⅰのように、政治史と文化史が混ざる問題もあります。もしかしたら政治史を入念に学習する方が多いかもしれませんが、いずれかの分野に偏る出題はしていません。日本史が選択科目になっている知的財産学部も情報科学部も、大学に入学してからの学修内容は社会・経済史、文化史に関わるものも多いです。社会・経済史、文化史にもしっかりと目を配ってください。

問題の種類という観点からすると、年代の並べ替え問題を出題しています。年号を細かく暗記するというよりも、いくつかの事柄がどのような流れにあるかを把握していることを期待しています。ただ暗記するのではなく、時代背景や事柄が起こった理由を学習しましょう。また、資料問題も出題していますが、資料集をすべて学習することを期待してはなりません。資料集を用いて学習することで、闇雲に暗記するのではなく、その時代のリアルな動きを把握するという学習習慣が身につくことを期待しています。

時代も分野も問題の種類も幅広いですが、大学での学びにも重要な内容ですので、ただ暗記するのではなく、日本史の大きな流れを複眼的に学習してってください。